

公 開 用 議 事 録

※委員名を削除するなど、公開しても差し支えないであろう内容に修正したものです。

平成 29 年度第 5 回多治見市男女共同参画推進審議会 議 事 要 旨

I. 開催日時：平成 30 年 2 月 21 日（水） 13:30～15:30

II. 場所：多治見市役所本庁舎 5 階第 1 会議室

III. 出席者（敬称略）

＜委 員＞安藤克己、岩下英治、伊藤静香、熊澤美江子、木次拓美、佐治泰直、鈴木亜紀子、
ハンスカールソン、藤浪貴大、宮澤則子、村瀬竜也、山下真美子、渡邊よし子

（欠席）館林直子

＜事務局＞環境文化部長 樋口正光 くらし人権課長 加藤洋子

くらし人権課 武井かぐみ、伊藤秀美

IV. 内容

はじめに

【議題】

1. 第 3 次たじみ男女共同参画プラン（案）について
2. 第 3 次たじみ男女共同参画プランの進捗確認方法について
3. その他

【資料】

資料 1：第 3 次たじみ男女共同参画プラン基本目標説明文

資料 2：第 3 次たじみ男女共同参画プラン進捗確認票記入要領（案）

資料 3：第 2 次たじみ男女共同参画プラン後期計画進捗確認票

V. 議事要旨

はじめに

- ・ 環境文化部長あいさつ
- ・ 会長あいさつ
- ・ 会議及び議事録の公開について（事務局説明）

公 開 用 議 事 録

※委員名を削除するなど、公開しても差し支えないであろう内容に修正したものです。

【議題】

1. 第3次たじみ男女共同参画プラン（案）について

- ・ （会長）第3次たじみ男女共同参画プラン（案）について事務局から説明をお願いしたい。
- ・ （事務局）説明
- ・ （会長）事務局の説明に対して、ご質問やご意見があればご発言願いたい。
- ・ （委員）第2次後期計画策定時と同様、パブリック・コメントが0件だったことについて、事前に意見が出るよう工夫していかなければならないと感じた。また、方針9のように、配偶者などからの暴力（DV）は、男女の不平等な関係や経済力の格差等から発生していることもあり、男女共同参画と繋がっていることがわかるが、資料の方針8のみを見てしまうと、さまざまな困難を抱える人が安心して暮らせる環境の整備がどうして男女共同参画に繋がるのかが分かりづらい。
- ・ （会長）パブリック・コメントについて、市民がより意見を出せるように工夫が必要ではないか。中にはパブリック・コメントに意見を出したくても具体的な書き方が分からない人もいると思う。パブリック・コメントをわかりやすいものにできないか。
- ・ （事務局）パブリック・コメント方法としては、メール、FAX等の様々な媒体でご意見を出していただけるが、パブリック・コメント実施を全体的にみても意見がある方が少なく、案件の内容によって差がある。パブリック・コメントの担当課は、秘書広報課であるので、パブリック・コメントのPR方法やもっと参画しやすい環境づくりのご意見については、後日、所管課にお伝えする。
- ・ （委員）男女共同参画に関する計画のパブリック・コメントにおいて、意見が出た自治体がどのように意見を集めているのかを聞いてはいかがか。例えば、廃棄物処理場のように、自分の生活に直接影響する可能性があるとなれば意見が出やすい。これと同様に、男女共同参画が日常生活に関係あると認識されるように努めていかなければならない。
- ・ （事務局）男女共同参画が一人ひとりの日常生活に溶け込むように一層啓発していく。
- ・ （委員）プランの文章について、これは体系図の施策の順番に沿って記載されているのか。
- ・ （事務局）体系図を頭に描きながら記載しているが、構成上、前後する点は了承いただきたい。
- ・ （委員）第3次プランの方針4の女性活躍推進について、これからどんどん高齢者も活躍していく社会になっていくわけだが、ここの中には高齢者の活躍が含まれていないが、入れなくて良かったのか。
- ・ （会長）基本目標Ⅱ、「誰もが活躍できる社会づくり」における方針4では、労働の場を中心に依然として男女格差がある現状をなくすことや、男性の家事育児への参加促進、仕事と子育てや介護等の両立であるワーク・ライフ・バランスといったことを主に進めていきたい。
- ・ （事務局）高齢者の活躍については、基本目標Ⅲの方針8の（20）「シニア世代の自立と活力の活用促進」において高齢者の社会参加の推進を行っていく。
- ・ （会長）他に意見はあるか。なければ、議題1については終了とする。

公 開 用 議 事 録

※委員名を削除するなど、公開しても差し支えないであろう内容に修正したものです。

【議題】

2. 第3次たじみ男女共同参画プランの進捗確認方法について

- ・ (会長) それでは次の議題に入る。事務局から説明をお願いしたい。
- ・ (事務局) 説明
- ・ (会長) 事務局からプランの進捗管理票の新様式について説明があったが、ご質問やご意見があればご発言願いたい。
- ・ (委員) 進捗管理票のシート数を減らすことは大いに賛成だが、1つの事業が複数の課にまたがる場合に、1つの課が関係課と調整し、まとめて1枚のシートに回答することはできないか。シートが少なくなる分、負担が減るのか、それともやはり担当課ごとにそれぞれ回答シートを作成した方が楽なのか。
- ・ (事務局) 枚数を減らすことでシート1枚毎のチェックに費やす時間を増やし、確認や評価をしっかりとしていきたい。
- ・ (会長) 作業量は増えると思うが、他の関係課と重なる施策については、それぞれの担当課が1枚ずつ作成するのではなく、関係する課同士が調整して1枚のシートにした方が連携の強化という点では良い。
- ・ (委員) ぜひ関係課の中で誰か調整役をたて、連携していただきたい。
- ・ (委員) 予定や評価を照会する時期はいつか。
- ・ (事務局) 毎年2月頃にその年度の進捗状況、来年度の予定事業について照会を行っている。
- ・ (委員) 現在の第2次プラン後期計画の事業が166シートにわたって管理されているが、166シートを確認し評価していくことは難しい。事務局の改善案にももちろん賛成であるが、これまでは事業につき1シートであったが、それを第3次プランでは施策ごとに1シートにした場合、予定事業や進捗状況の記入欄が1シートに収まりきるのか。また、単年度ごとに評価をするとすれば、記入要領の記載が年度末には「当初予定計画どおりに進んでいる」ではなく、「当初予定計画どおりに進んだ」といったような過去形になると考えるが、単年度計画、単年度評価ではないのか。
- ・ (事務局) 事業は、単年度計画のものだけでなく、複数年度計画のものもある。
- ・ (会長) 評価シートを施策ごとに管理することにした際に、「事業達成度」でよいのか。
- ・ (事務局) 各課の長期計画や3年計画、単年度計画とばらつきがあるなかで、何をもって達成とするのか評価の統一をするのが難しい。
- ・ (委員) 長期計画、単年度計画等ある中で、単年度で行う施策と長期計画においての施策を同じシートで管理するのは難しいのではないか。
- ・ (委員) 各課の評価は評価として考えつつも男女共同参画審議会としては掲げられた各課の計画を実施したことによって「男女共同参画に関する市民意識結果」にある数値をプラスの方向へと導くことに成功したのかを評価基準にし、計画や実施方法が良かったのか、悪かったのか、良い効果が確認された場合はどうしたら継続していくのか、効果が出ない場合はどのように変更させていくのかといったことについて審議すべきである。

公 開 用 議 事 録

※委員名を削除するなど、公開しても差し支えないであろう内容に修正したものです。

- ・ （委員）事業効果や課題の方に重点を置いて、管理や評価を行った方がよい。
- ・ （会長）男女共同参画の意識や視点がそれぞれの施策にどのように盛り込まれているのかに注目していきたい。
- ・ （委員）どれだけ意識が浸透したのかを見たい。
- ・ （委員）看護現場において計画を管理していく際には、目標に対しての評価であり、施策をしたことの結果の評価を行うものだ。
- ・ （委員）効果、課題は大切だが、成果や数値が出にくいものもある。また、1 つの施策のシートを複数枚にすると、それらを見比べる必要があるため、1 枚に収まるように配慮していただきたい。
- ・ （委員）長期の計画によって、意識の変化や目標に対する効果がわかればよいが、情報紙や講演会、FMのような啓発事業は効果を測定しにくい。
- ・ （委員）世界の国をランク付けしたジェンダー・ギャップ指数の 2017 年の日本の順位が 114 位であったことを考えると、格差をなくすための国の制度の活用や市民の性別役割分担意識改革を行う必要がある。
- ・ （委員）10 年間などの長期計画の中で、見直し期間があると思うが、課題は年々変わっていくことから、その都度目標を変更し、その経過を経年でみえるようにした方がよい。
- ・ （会長）それこそが計画であり、計画を進行していくことが大切である。
- ・ （事務局）本日いただいた意見をもとに、事務局で再度、検討させていただき、来年度 1 回目の審議会でも議論いただきたい。

3. その他

- ・ 企業向け男女共同参画情報紙「企業が元気！みんなも元気！Vol.4」配布

閉会